

人と自然が“ほっとな”まちの広報紙

# え び の

Public Relations



【特集】男女共同参画  
「理解」から、さあ「実践」へ

〈写真〉コスモスが見頃のえびの観光祭会場にて (P15)

2011  
November  
No.541

11



男女共同参画

「理解」から、さあ「実践」へ

男だから、女だからといった性別にとらわれることなく、一人ひとりがその個性や能力を発揮し、あらゆる分野で活躍できる社会、それが、男女共同参画が実現した社会のイメージです。しかし、いまだに固定的な性別役割分担意識や、それに基づく旧来の制度や慣行が根深く存在しています。



**男女共同参画社会はどれだけ進んでいるのか**

「男女共同参画社会基本法」制定から今年で12年目になりますが、男女共同参画社会はどの程度進んだのでしょうか。

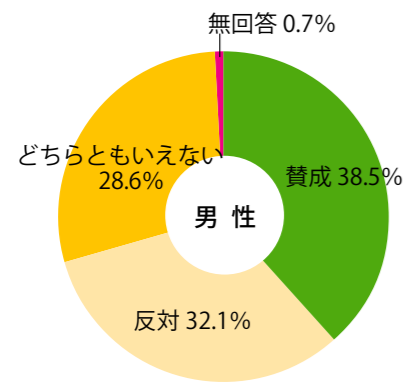
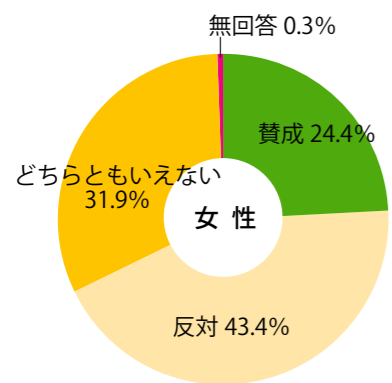
宮崎県が平成22年7・8月に行った「男女共同参画に関する県民意識調査」では、男女の平等感で、生活の様々な場面で男性が優遇されていると感じている人の割合が高く、特に「社会通念・慣習・しきたりなど」では、約7割（69・4%）の人が「男性優遇」と感じています。「男は仕事、女は家庭」という考え方は、女性に「賛成」（43・4%）、男性は「賛成」（38・5%）の人の割合が高く、男女で意識の差がみられます。

男女共同参画に関する意識は着実に変わってきているものの、実社会における男女の地位については、いまだ不平等が残っている現状がうかがわれます。

**仕事と生活を両立できるワーク・ライフ・バランスを**

会社での管理職などへの女性の登用が少ない背景には、結婚や出産を機に離職し、キャリアが中断される女性が多いことが考えられます。出

男は仕事、女は家庭という考え方について



出典：「男女共同参画に関する県民意識調査」

産後も働き続けることを希望する女性が多くなっていますが、現実には、第一子の出産を機にその7割弱が離職しています（下図）。

共働き世帯が増えている中で、日本の男性が家事や育児などに費やす時間は1日平均1時間程度。そのうち育児に費やす時間は30分程度に過ぎません。最近では子育てをしたと考える男性も増えていますが、男性の30代、40代は長時間労働が多く、男性が育児休業を取得しやすい職場環境になっていないことなどから、子育てに参加することが難しいという現状があります。

仕事と生活の調和についての意識調査では、現状では約4割（41・1%）の人が「家庭・地域活動にも携わることが仕事を優先」、約2割（18・1%）の人が「家庭・地域活動と仕事を両立」しています。「家庭・地域活動

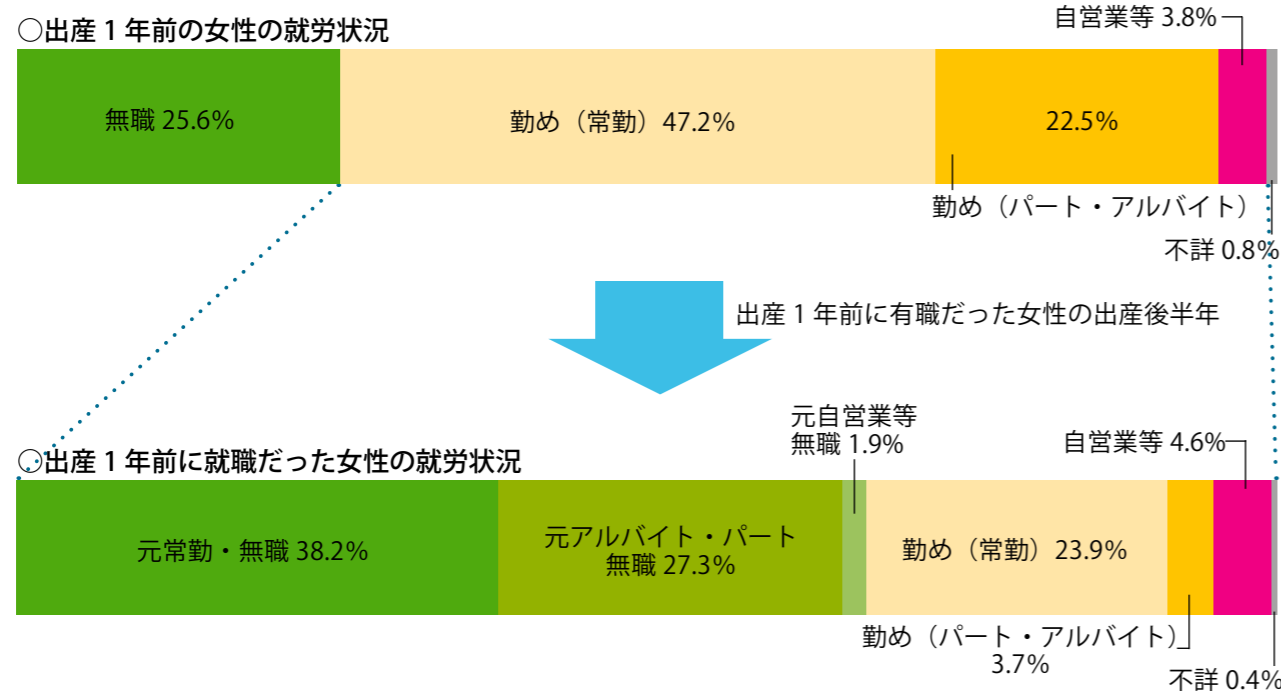
よりも仕事に専念」を希望する人は男女とも2〜5%程度ですが、現状では女性（10・4%）、男性（15・9%）ともに仕事に専念する人が1割を超えています。

このような中で、仕事か生活といった二者択一の考えではなく、男性も女性も、仕事と生活の両方を、自分が希望するバランスで実現できる「ワーク・ライフ・バランス」という考え方が広がってきています。

**男女共同参画社会の実現に向けて**

男女共同参画社会の実現は、男性と女性がお互いを理解し合い、尊重し合うことから始まります。家庭や職場、地域で「男女共同参画社会」について、考えてみませんか。

きょうだい数1人（本人のみ）の世帯の出産前後の女性の就業状況の変化



出典：内閣府男女共同参画局「男女共同参画社会の実現を目指して」



# イクメン・カジダンを語ろう

11月6日、市文化センターで「2011男女共同参画フォーラムinえびの」が開催されました。第2分科会「イクメン・カジダンを語ろう」の様子を抜粋して紹介します。

**榎木田** 今日は、イクメン、カジダンを語ろうということで、パネラーに時任一成さん、外菌幸子さんに来ていただいています。時任さんは、3人の子どものお父さんです。2人目3人目の時に、育児休業を取得されました。時任さんが育児を取ろうと思ったきっかけはなんですか。

**時任** 2人目が産まれた時、子ども課で子育て支援とかをしていましたので、職場環境が育児休業を取る大きなきっかけになりました。

**榎木田** 職場復帰は、スムーズに

きましたか。

**時任** 職場環境に女性が多いこともあって「大変だった」など言葉をかけてもらい共感してもらいました。

**榎木田** 周囲の男性の反応はどうでしたか。

**時任** 同じ年代の父親に「きっかけがあれば自分も取りたい」という声を聞くことができました。

**榎木田** 男性の育児取得を増やすにはどうすれば良いでしょうか。

**時任** やっぱ、職場環境が一番大きいと思います。組織、社会いろ

んな方の理解。女性は、育休に入るタイミングが産前産後からの9か月ですが、男性は、入るタイミングがありません。やはり、男性が育休を取る際、上司の理解があると、助かると思います。

**榎木田** 夫の気持ちが変わるためには、妻はどうしたらいいでしょうか。

**時任** 夫婦で毎晩、こういうことが大変だったとか、コミュニケーションを良く取ることです。コミュニケーションを取ることで自分は今、これをしなければいけないって意識になります。



【コーディネーター】  
榎木田 朱美さん  
UMK テレビ宮崎報道キャスター

※イクメン・カジダンとは、育児や家事を積極的に行い、楽しむ男性のこと



**榎木田** 外菌さんは、3人のお子さんのママです。以前住んでいた都城で、育児情報誌を立ち上げ、取材から編集までを担当していました。初めての子育ての時はどうだったのかを聞かせてください。

**外菌** 最初の子育て1か月は、実家に帰っていました。本当に辛かったです。子どもが、なぜ泣いているのかなどが分からず一緒に涙を流したことが何回もありました。

**榎木田** 育休サークルに入られて、どんな出会いがあり、情報誌をどのように作られたのですか。

**外菌** 都城には知り合いも友だちもいませんでした。そういう状態が辛くて、子育て支援センターに行きました。そこで子育て支援サークルを知りました。このサークルに入って友だちを作って、いろんな情報を手に入れようと思いました。

**榎木田** 夫の働く環境、働き方などは、大きく子育てに関係してきますよね。

**外菌** 育児サークルでお父さん方に話を聞いてみると「本当は育児をやりたいけど、なかなか時間がとれない」という意見が多かったです。長い

お父さんが言っていたのが「男性の育児への関わりは、難しいと思います。明るい未来にするためにも育児に対する理解、男性の参加は大事です。核家族化している今だからこそ子育てなど、父親の関わりが重要だと思います」という感想をもらいました。

**榎木田** 母親が役に立つだけのイクメン・カジダンではないということですね。時任さん、実際にその辺はどうですか。

**時任** 家庭では、仕事と育児のバランスが大事です。妻だから家事をしないといけないではなく、「家庭で誰がすれば、バランスがとれるか」ということなどを話し合っていくことが必要です。

はないでしょうか。

**榎木田** 子育て経験を共有することは、何十年後のパートナーシップにもつながると思います。2人は、どう思いますか。

**時任** 子どもは夫婦の大切な宝物です。夫婦で楽しさや苦しさも分かち合いそれを楽しんでいくことが家族の在り方だと思います。そんな子育てですが、積極的に参加しないと、妻が大変な時に、子どもが寄ってこなくなりそうです。そうすると夫としての立場がありません。そんな環境をつくらないためにも父親が積極的に参画していくことが大切ではないでしょうか。

時間労働などが原因だと思っています。そういったところを改善しないとイクメン、カジダンっていう道はなかなか遠いものではないかと思えます。あと、意識改革が必要です。まだまだ「男は仕事」と思っている人が多いです。子どもが病気の時に父親が休むことができれば、母親の負担がなくなります。父親が育児を取れば、母親が、育児での仕事のプ

ランクを負うことありません。職場内でこのような意識が浸透し、理解してくれる人が増えれば、変わってくるのではないのでしょうか。

**榎木田** 子育て支援センターで、時任さんを講師に招き、イクメン講座を行いましたね。お父さんたちの反応はどうでしたか。

**外菌** お父さんの参加が1組でした。とても残念でした。参加したお

榎木田 外菌さん、できる方ができるときにすればいいものですよ。

**外菌** 女性ばかりが全てをやらなければならぬことではありません。できる方がやっていくのが良いので

**榎木田** 1人目の子どもを出産してから実家に帰っている時に、夫に、泣きながら「私の母は何にもしてくれない、実家に里帰りしているのに」と訴えたことがあります。その時、夫が「2人の子どもなんだから2人で育てていけばいいじゃないか。実家を出て自宅に帰ろう」と言ってくれました。それが、今でも忘れられません。そういった言葉や思いが、すごく大事です。



【パネリスト】  
時任一成さん  
都城市在住。6歳、4歳、2歳の3児の父。都城市役所勤務。2人目、3人目の時に育児休業を取得。



【パネリスト】  
外菌 幸子さん  
宮崎市出身。5歳、2歳、4か月の3児の母。友だちを作るために入った育児サークルで育児情報誌の製作などに携わる。

**榎木田** 良いこと言われると覚えていますよね。辛いことがあった時は、それを思い出して、また頑張ろうってなる。それが、夫と妻のパートナーシップになっていけば、子どもたちの前で笑顔でいられますよね。



# 用語説明

## ■一般会計

福祉や教育、公園や道路建設などの市の基本的な事業を行う会計です。市税や地方交付税などを主な財源としています。

## ■特別会計

特定の収入を特定の支出に充てて事業を行う会計です。市では、国民健康保険、観光などがこれに該当します。

## ■地方交付税

地方税などの自主財源だけでは財源が足りない地方自治体に対して国が交付するお金のことです。

## ■国庫支出金

国から地方自治体に交付される補助金や委託金などのことです。

## ■市債

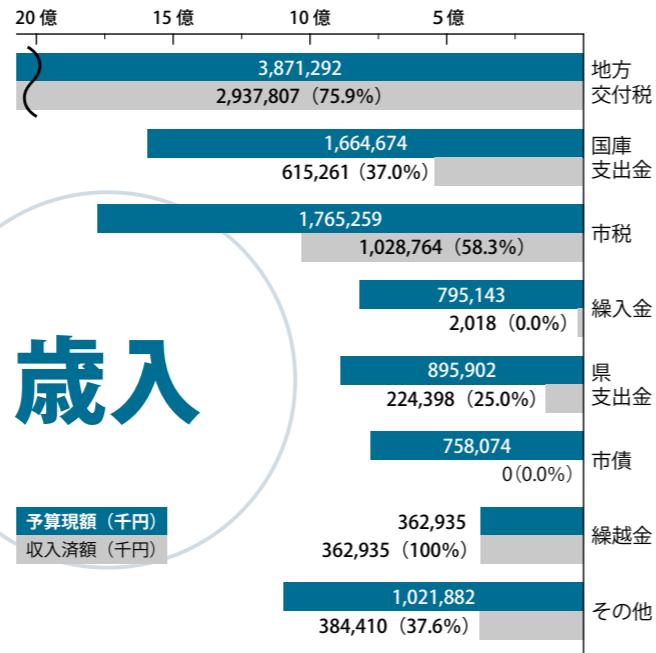
市がさまざまな事業を行うとき、長期にわたって借りるお金のことです。

## ■公債費

市債を返還するための経費のことです。

## ■お問い合わせ先

市財政課財政係  
☎ 35 - 1111 (内線 381)



# 歳入

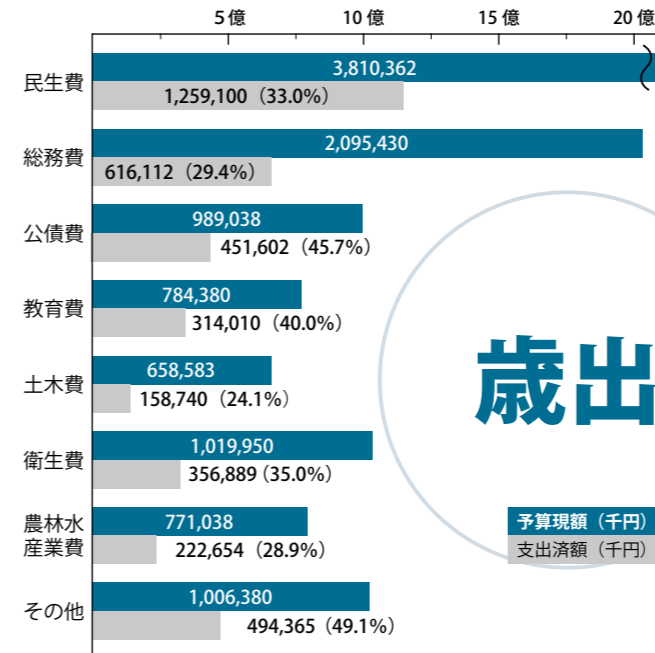
予算現額 (千円)  
収入済額 (千円)

## 【特別会計の予算執行状況】

[単位: 千円]

会計	歳入		歳出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
国民健康保険特別会計	3,707,921	1,486,808	3,707,921	1,464,648
観光特別会計	33,288	28,073	33,288	28,004
介護保険 特別会計	2,743,944	1,352,271	2,743,944	1,121,042
介護サービス事業勘定	20,925	10,156	20,925	7,997
後期高齢者医療特別会計	580,028	53,727	580,028	194,850
合計	7,086,106	2,931,035	7,086,106	2,816,541

※収入済額を上回る支出部分は、一時運用金(会計間のやりくり)で対応しています。



# 歳出

予算現額 (千円)  
支出済額 (千円)

※グラフは、それぞれ平成22年度からの繰越予算を含めた額です。  
※歳出予算の「その他」は、議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費などです。  
※歳入予算の「その他」は、地方譲与税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、諸収入などです。

## 【市債の状況】

[単位: 千円]

区分	現在高	前年同期残高
一般会計	7,067,948	7,183,842
水道事業会計	854,027	821,404
病院事業会計	43,247	49,122

平成23年度のえびの市の一般会計予算額(平成23年9月30日現在)は、歳入・歳出それぞれ110億1273万3千円(対前年度同期比2.9%増)で、このほかに平成22年度からの予算の繰越が、1億2242万8千円あり、合計で111億3516万1千円(対前年度同期比2.2%減)となっています。  
この合計額に対して、平成23年9月30日現在の収入済額は、55億5559万3千円で、収入済率49.9%、支出済額は38億7347万2千円で支出済率34.8%となっています。

# 予算の執行状況を公表します

# 水道事業



## ◎水道業務量

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)  
給水戸数・・・8,637戸  
給水人口・・・19,331人  
上半期給水量・・・1,016,975 m<sup>3</sup>  
1日平均給水量・・・5,557 m<sup>3</sup>  
1人1日平均給水量・・・287.5 ㍉  
普及率・・・77.3%

## ◎借入金残高 854,027 千円

■お問い合わせ先: えびの市水道課経営管理係  
☎ 35 - 1111 (内線 291)

## 【事業収入に関する事項】

[単位: 円]

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
水道事業収益	327,199,000	156,036,569	156,036,569	47.7
営業収益	326,197,000	155,971,222	155,971,222	47.8
営業外収益	999,000	65,347	65,347	6.5
特別利益	3,000	0	0	0.0

収入の営業収益は、水道料金、手数料、水道加入金など。営業外収益は、預金利息、雑収益など

## 【事業費用に関する事項】

[単位: 円]

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
水道事業費用	292,430,000	127,494,935	127,494,935	43.6
営業費用	271,326,000	117,633,996	117,633,996	43.4
営業外費用	20,601,000	9,818,624	9,818,624	47.7
特別損失	3,000	42,315	42,315	1410.5
予備費	500,000	0	0	0.0

支出の営業費用は、浄水費、配水費、減価償却費など。営業外費用は、企業債の償還利息など

# 病院事業



## ◎病院業務量

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)  
病床数・・・50床  
入院患者数・・・延べ6,718人  
外来患者数・・・延べ19,839人  
入院1日平均・・・36.7人  
外来1日平均・・・160.0人

## ◎借入金残高 43,247 千円

■お問い合わせ先: えびの市立病院  
☎ 33 - 1023

## 【事業収入に関する事項】

[単位: 円]

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
病院事業収益	1,013,690,000	506,157,939	506,157,939	49.9
医業収益	939,505,000	433,081,947	433,081,947	46.1
医業外収益	74,184,000	73,075,992	73,075,992	98.5
特別利益	1,000	0	0	0.0

収入の医業収益は、入院収益・外来収益など。医業外収益は、一般会計補助金など。

## 【事業費用に関する事項】

[単位: 円]

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
病院事業費用	1,019,355,000	447,084,753	447,084,753	43.9
医業費用	1,017,355,000	446,394,424	446,394,424	43.9
医業外費用	1,799,000	690,329	690,329	38.4
特別損失	1,000	0	0	0.0
予備費	200,000	0	0	0.0

支出の医業費用は、給与費、材料代経費等。医業外経費は、企業債の償還利息など。

# 功績をたたえ市民表彰

平成23年度えびの市市民表彰式が11月3日、えびの市文化センターで行われました。今年度の受章者・団体は、地方自治、教育・芸術・文化や福祉など、さまざまな分野で長年貢献されてきた4人と1団体です。

表彰式では、受章者に村岡市長から賞状と記念品が贈呈されました。村岡市長は「市の指導者として、模範として、えびの市の市政発展に一層の力添えをお願いします」と式辞を述べました。

受章者を代表して、中村優さんが「表彰を機に、えびの市のために今後も努力していきます」と謝辞を述べました。えびの市市民表彰制度は、昭和62年度に「市政功労者表彰」としてスタートしました。平成23年度の市民表彰では、市民に公募を行い、多くの候補者の中から表彰審議会の審査により、受章者・団体を決定したものです。

## 地方自治部門

【功績】長年にわたり、市民への交通安全啓発活動として、交通安全教室、交通安全街頭キャンペーンや決起集会の開催、広報巡回パトロールを実施するなど、交通事故防止活動の普及指導に尽力。地域住民の交通安全思想の向上に大きく貢献されている。

えびの地区  
交通安全協会  
[昭和49年5月12日発足]



## 産業経済部門

【功績】長年にわたり、えびの市農業協同組合長として、えびの市の基幹産業である農業振興に努め、えびの産ヒノヒカリのブランド化に大きく貢献。西諸県畜産販売農業協同組合連合会会長を務め、畜産物の販路拡大等に尽力。地域に根差した産業発展に貢献。



中村優さん  
[都城市上長飯町・74歳]

## 公共福祉部門

【功績】長年にわたり、えびの市民生委員・児童委員協議会委員を務め、ボランティア活動など昼夜を問わず地域福祉活動に尽力。会長職を歴任するなど、常に地域福祉の牽引役として活躍され、現在も心配ごと相談員として公共福祉の推進に貢献されている。



繪柳益夫さん  
[えびの市栗下・80歳]

## 市民生活部門

【功績】長年にわたり、市民の人権擁護および人権意識高揚の啓発活動に精励。都城市人権擁護委員協議会会長、宮崎県人権擁護委員連合会理事などを歴任され、法務局在職経験等を活かし、地域住民の「身近な相談役」として市民生活の向上に尽力されている。



徳澄季喜さん  
[えびの市向江・78歳]

## 教育・芸術・体育・文化部門

【功績】長年にわたり、歴史文化の発掘および文化財保護などに尽力。郷土史編さん委員を務め、「えびの市史」をはじめとする各種の編さんにあたり、えびの市の歴史文化の継承および保護・保存に大きく貢献。



平喜志男さん  
[えびの市西長江浦・86歳]

## ぶらいど21事業を活用 まちづくり活動の成果を報告



報告をする「田代ひまわりロードプロジェクト」永田敬一郎さん

ぶらいど21の報告会が、10月18日、えびの市国際交流センターで行われました。ぶらいど21事業は、地域でまちづくり活動を行う団体などに対し助成を行っているものです。報告会では「JRえびの駅をといちらかさん会」「末永村づくり実行委員会」「田代ひまわりロードプロジェクト」がまちづくり活動の成果を報告しました。

「田代ひまわりロードプロジェクト」の永田敬一郎さんは、ひまわりを使った迷路づくりや収穫された種でひまわり油を作ったことなどを報告しました。報告終了後には、地域活性化アドバイザーの奥村玄さんが、市で行っている地域づくりの報告などを行いました。ぶらいど21助成事業は、平成15年から行われていて、これまで、この助成金を市内37団体が、各地域でのまちづくりに活用しています。

## 駐屯地創立30年、VLF創立20周年記念事業 地域と連携を密に「自衛隊のまち宣言」



コールりんどうと第8音楽隊の合同演奏

自衛隊基地創立記念事業が、10月15日、市文化センターで行われました。記念事業では、陸上自衛隊第8音楽隊の演奏とえびの駐屯地司令の講話などが行われました。この記念事業は、駐屯地創立30周年とVLF創立20周年を記念し、市民が「自衛隊のまち」であることを認識してもらうことを目的に行われたものです。

音楽隊の演奏では、アンコールを含む全9曲が披露されました。迫力ある演奏に、訪れた市民約600人が、盛大な拍手を送っていました。第2部の防衛講演では、えびの駐屯地司令仲司さんが「きぼっど！えびの！」の演題で「えびの駐屯地の紹介、自衛隊の地域での在り方など」を講演しました。記念事業の最後には、地域、自衛隊と市で連携を密にし、共存共栄を図ることを誓い、「自衛隊のまち」宣言が行われました。今後、市では、さらに、自衛隊があることを生かしたまちづくりを推進していきます。



# あの時、あの頃

あの時のえびの市を広報紙で振り返る

今月は、16年前の広報紙にタイムスリップ



## 「秋の矢岳を満喫」

10月29日、霧島連山のすばらしい景観が見渡せる県立矢岳高原で、「矢岳高原観光祭」が行われました。観光祭には、市民など約500人が参加。秋の一日を楽しみました。

この観光祭は、野外レクリエーション活動の適地、観光地として矢岳高原を広くPRすることを目的に行われ、市観光協会主催です。

観光祭では、吉田温泉から矢岳高原までの往復4キロメートルの「体力づくり歩こうよ大会」や「スケッチ大会」などが行われ、矢岳高原では、子どもたちが、草スキーを楽しんでいました。(平成7年11月掲載)

※このコーナーは、これまでの広報紙の記事を一部抜粋、修正して掲載しています

◎自公連だより

## がんばる！公民館

### 区民が喜んで参加できる公民館を

(杉水流自治公民館)

杉水流区の自治公民館活動は、区民一人ひとりが喜んで参加できることを目指し、地域一丸となって展開しています。

昨年度から行っている小菜園事業では、「カライモ」の栽培に取り組んでいます。実りの秋には、区民総出で収穫祭を行います。収穫祭では、「がね」などの「カライモ料理」に舌鼓を打ちます。その中で、自然と区民同士の親交が深ま

※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称



今年5月に行われたカライモの植え付け



杉水流自治公民館長  
宮久保辰二さん

り、団結と融和が図れました。今年も「作っみるかい。食っみるかい」を合言葉に、植え付けから草取りまで区民総出で取り組みました。

また今年も、杉水流の一大イベントとして「区民の絆の輪」をスローガンに「夏祭り」を計画しました。早朝からの準備には、多くの区民が駆け付け、手づくりの出店などを設置しました。夕方6時から始まった「夏祭り」は、カラオケやおどり等の出し物やお楽しみ抽選会などを行いました。祭りの終盤には、参加者全員が花火でつなぐ「花火リレー」を行い、最高潮に盛り上がりました。

今後も、区民が喜んで参加できる「自治公民館活動」を目指して最大の努力をし、杉水流自治公民館の活性化に取り組んでいきます。

## ジオパーク発掘調査隊

その26

今月は、小林市須木にある「須木の滝(ままこ滝)」と「すきむらんど」を紹介します。

### ■須木の滝(ままこ滝)

小林市の北部の須木地区には、照葉樹の森に抱かれた豊かな自然が数多く残されています。その中でも代表的な自然景観といえるのが「ままこ滝」です。

その昔、子を滝つぼに突き落とそうとした継母が、そのはずみで共に落ち込んでしまったという悲話から「ままこ滝」と名づけられました。

この滝は、中生層の粘板岩上、加久藤カルデラからの火砕流(約34万年前)ででき、溶結凝灰岩の柱状節理にそって5条に分かれています。かつては落差41メートル、滝つぼの深さ22メートルという勇壮な姿を誇っていました。

その後、昭和33年に綾南ダムが完成したことで小野湖が出現し水面が上昇。落差こそ短くなりましたが、

小野湖の湖面に、轟音とともに水しぶきをあげて落下する滝の姿は絶景です。

ままこ滝は、小野湖にかかる大つり橋から見ることが出来ます。この橋は、延長155メートル、幅員1・5メートルで、歩道の斜張橋としての高さは日本一です。

■すきむらんど  
「すきむらんど」には、「ままこ滝」や天然総ヒノキを使用した内湯や湿式サウナがある温泉施設「かじかの湯」、茅葺きの宿「栗の山里かるかや」などがあります。大自然の中で身も心も癒される観光施設となっています。



大つり橋から見た「ままこ滝」





えびのの季節に合った野菜を作るという田中さん

# 田中伸介さん

## 若い力でえびの市を盛り上げたい

*Shinsuke Tanaka*  
 たなか・しんすけ / 31歳 / 上大河平 /  
 趣味：アウトドア活動、特に海でのキャンプが好き

「農業などは使わず、えびのの自然・季節にあった旬の野菜を作っています。大河平のタケノコをブランド化し、全国にえびのをPRできれば」と話すのは、田中伸介さん（上大河平区）です。田中さんは、高校卒業後、農業とは関係ない千葉の大学

に進学。在学中、東京在住で宮崎県出身のレストラン経営者と出会い、卒業後は、その経営者に頼まれ、宮崎県産の野菜の調達をしていました。「26歳の時、シェフの要望にかなった野菜が見つからず、要望に答えられる野菜を自分の手で作ろう」と農業を

始めたそうです。田中さんは「外に出て、改めてえびのの魅力などを感じました。若者の力でえびの市を活性化していきたい」と、昨年12月に大河平地区の20歳〜30歳の若者8人で構成する「OKOBIRA369」を

名前の369は、地区の標高と構成員が音楽のロック好きが由来とのこと。活動は「大河平地区の高齢者の畑作業などを手伝ったり、えびの市内で行われるイベントなどをサポートしたりしています」しかし「まずは、自分達が無理をせず、できる

時にできることをやっていくと考えました」と堅実です。「私たちのような団体が市内外各地で地域を盛り上げていけば、えびのの活性化につながるのではないでしょうか」と話す田中さん。市内に同様の活動が広がるのが期待されます。



えびの自慢のえびの料理

◎今月一品  
 ハニーマスタードチキンソテー

今月紹介するのは、男の腕まくり料理教室で作った「ハニーマスタードチキンソテー」です。ハニーマスタードソースは、肉や魚、野菜料理、サンドイッチにも使える万能ソースです。酸味やオリーブオイルなどの油を加えるとドレッシングとしても使えます。料理のポイントは、包丁で鶏肉をたたき、切り込みをいれ、皮目から焼くことです。そうすることで、パリッと香ばしく仕上がります。



【紹介者】  
 男の腕まくり料理教室参加者と  
 えびの市食生活改善推進委員のみなさん

# えびののののの つまかもん

「えびののうまいもの」

vol.43

**レシピ**

**【材料】** (4人分)  
 鶏もも肉..... 60g×4枚  
 塩..... 小さじ1/4  
 こしょう..... 少々  
 オリーブオイル..... 大さじ1  
 【ハニーマスタードソース】  
 はちみつ..... 大さじ2  
 粒マスタード..... 大さじ2  
 レモン汁..... 大さじ1・1/2  
 【付け合わせ】  
 レタス..... 30g  
 トマト..... 120g  
 パセリ..... 少々

**【作り方】**  
 ①鶏もも肉は、厚い部分に包丁で切れ目を入れ、塩・こしょうで下味をつける。  
 ②フライパンを熱し、①を皮目から入れ、中火でじっくりとソテーする。両面がきつね色になり、ほぼ火が通ったら、合わせておいたハニーマスタードソースを加え、煮つめながら照りをつける。  
 ③レタスは食べやすい大きさにちぎっておく。  
 ④トマトは、くし型に切る。  
 ⑤パセリはみじん切りにし、水にさらしておく。  
 ⑥②の肉を器に盛り、レタスとトマトを添える。仕上げにパセリをふる。

recipe





秋季えびの観光祭  
秋のえびのを満喫

10月22日、23日、グリーンパークえびのを会場に秋季えびの観光祭が行われました。会場には、2日間で、市内外から約1万人が来場しました。  
グリーンパークは、600万本のコスモスが見頃となりました。これに合わせて行われた観光祭では、フリーマーケットや物産展、カヌー体験教室などが行われました。Eポート試乗体験や特産品などが当たるダーツは、多くの人でにぎわっていました。



上江小中合同「森林教室」  
森林の歴史や成長を学ぶ

10月14日、白鳥森林公園周辺で「森林教室」が行われました。教室には、上江小中学校の児童生徒ら約70人が参加しました。この教室は、児童生徒に、身近な自然の素晴らしさや大切さを体験してもらおうと行われたものです。  
講師には、白鳥でボランティアなどを行っている前田正一さんが招かれました。子どもたちは、講師から森林について学んだ後、白鳥温泉下湯まで林道ハイキングを楽しみました。

えびの市戦没者追悼式  
平和への誓いを新たに

10月18日、文化センターで平成23年度えびの市戦没者追悼式が行われました。式には遺族など約350人が参加。戦没者の慰霊を行いました。  
えびの市では太平洋戦争で1287人の尊い命が失われました。  
式典では、参加者全員で戦没者に黙とうを行った後、遺族の代表らが献花を行いました。  
市長は「悲惨な戦争を繰り返さないよう平和への誓いを新たにします」と式辞を述べました。



上大河平地区で防災訓練  
防災ヘリコプターも参加

10月19日、大河平小学校の校庭で、県の防災ヘリコプターも参加した、防災訓練が行われました。  
この訓練は、上大河平自主防災会の防災訓練に合わせて行われたものです。市内自主防災組織が防災ヘリコプターを要請して訓練を行うのは、初めてです。  
同会会長の木下幸夫さんは「いっしょで発生するかわからない災害に備え、防災ヘリコプターなど高度な訓練を取り入れました」と話していました。



県畜産共進会、ハーブ牛枝肉共進会  
家畜の品質を競い合う

10月14・15日、都城地域家畜市場で第56回宮崎県畜産共進会が行われました。  
10月22日、熊本県多摩郡錦町で第24回宮崎ハーブ牛枝肉共進会が行われました。  
市内の生産者もすばらしい成績を収めました。  
【宮崎県畜産共進会】  
〔種畜の部乳用種第5類〕優等賞2席 川原澄広さん(上浦区)  
【宮崎ハーブ牛枝肉共進会】  
〔宮崎ハーブ牛部門〕最優秀賞 廣重秀則さん(出水区)



シルバー人材センターの日にあわせて  
真幸園でボランティア

10月21日、(社)えびの市シルバー人材センターの会員80人が、老人ホーム真幸園の草払いとせんだのボランティアを行いました。  
このボランティアは、毎年10月の「全国一斉シルバー人材センター普及啓発月間」に合わせ行われたものです。  
シルバー人材センターの藤嶋勉事務局長は「会員の協力で手際よく作業が完了しました。入園者に気持ち良く過ごしてもらえれば」と話していました。



ありますが、好きだと言える一冊が。

## おすすめの 一冊



『盆栽生活』

石川浩子／監修  
(株式会社淡交社)

四季盆栽とは、それぞれの時季に見頃を迎える植物を寄せ植えし、季節ごとに鉢が変化の様子を楽しむ盆栽のことです。

春夏秋冬それぞれのコーディネート、盆栽の作り方、手入れ方法、テーマ別のおすすめの盆栽植物といった内容で構成されています。

「見て」「作って」「癒される」自分だけの小さな庭を作るには、もってこいの一冊です。

### BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

### Editor's

◎編集後記

早いもので、今年もあと2か月をきりました。11月なのに、例年より暖かくて過ごしやすい日が多いような気がします。

10月のある日、係長と毘沙門の滝の写真を撮りに行ってきました。毘沙門の滝は知っていたのですが、滝の上に行けるとは知らず、滝の上の溪谷に初めて行ってきました。溪谷から見る毘沙門の滝は、また一味違った感じでした。(川野)

#### ◎えびの市の人口

男性／9,954人 (-15人) 転入／48人  
女性／11,287人 (-11人) 転出／47人  
合計／21,241人 (-26人) 出生／10人  
死亡／37人

#### ◎えびの市の世帯数

9,200世帯 (-9世帯)

※平成22年国勢調査確定に伴い、前月分と比較した場合、数字が異なります。

(平成23年11月1日現在)

#### 今月の納税

国民健康保険税 第5期  
後期高齢者医療保険料 第5期  
11月30日までに納めましょう。

## 心の一首一句

私は良く星空を眺めます。特に11月から1月の冬の星空が好きです。澄んだ空気の中、一段と光り輝いて星が見えます。載句はその時に感じた句です。「ほおに触れた冷たい風は、北斗七星の柄杓からこぼれた……」とても雄大な気持ちになります。

(自註)

俳句

いま風のこぼれてをりし寒北斗

西上江区 前田正樹

日の光、紺碧の空、吹く風の冷たさ。それはまさしく美しい日本の秋である。高く澄みきった晩秋の気流に乗って飛翔するひと群の鳥を見て作者は感動している。人は歳を重ねても感動する心を持つ事こそ大切である。心のやさしい、素直な詠である。(評 竹下妙子)

短歌

晩秋の空果てしなく澄みわたり

連だちゆける鳥のひと群

京町区 小野スミ

詩

季節

駆け足でやってくる季節  
忘れられた場所から  
芽を出す彼岸花  
サヤサヤ風にゆれる  
川辺の葦に  
季節を知らされる  
今年の夏も  
何とか越えられた  
酷暑の夏には  
冬のつらさを忘れていたが  
急ぎ足の季節に  
春を待つ日々を思い出した

山下常昌

#### あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

(俳句) 松山良文さん ☎ 0984 - 33 - 4904

(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで



## いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

### 塩分は意識して減らしましょう

■後藤栄養士 (健康保険課)

私たちの毎日の食事には、必ずと言っていいほど含まれている塩分。おいしく食事を食べるためには必要なものです。

塩分は、血液の成分としていろいろな働きを担っていますが、体で必要な量はごくわずかです。厚生労働省の基準では、1日の摂取量は、健康な成人男性で9.0g未満、女性で7.5g未満となっています。

長年、みそ汁や漬け物など「塩味」を好んできた日本人の塩分摂取量は1日当たり10.9g(平成20年国民健康・栄養調査)で、取りすぎの状況です。塩分の取りすぎは、高血圧、心臓病、脳卒中などの脳血管疾患といった生活習慣病の発生と深くかかわっています。

#### 【塩分の取りすぎに気をつけましょう】

魚の干物や漬け物などの加工食品、調理済み食品をはじめ、塩分をあまり感じない魚肉練り

製品やパン、めん類にも塩分は使用されています。(図を参照)このような食品を利用しすぎないことが、塩分を減らすことにつながります。

#### ○食品に含まれる塩分量

明太子 (1/2はら) 1.4 g	梅干し (1個10g) 2.2 g
いかの塩辛 (20g) 1.4 g	たくあん (2切れ) 0.9 g
昆布のつくだ煮 (10g) 0.7 g	あじの干物 (1枚20g) 0.5g
焼きちくわ (1本) 2.4 g	食パン (1枚) 0.8 g

#### 【調理の工夫をしましょう】

とれたての魚や野菜は、そのままでもおいしいものです。旬のものは栄養だけでなく旨味も十分なので、少ない調味料でおいしくいただけます。また、天然のだしや香辛料、酸味を上手に取り入れることで調味料を少なくできます。

徐々に塩分の使用量を減らしていくと、舌が薄味に慣れ、おいしく感じるようになります。まずは、自分にできることから始めてみませんか？

## くらしのメモ

### 悪質商法にご注意を

悪質商法の被害が後を絶ちません。マスコミでも繰り返し報道されたことから、悪質な訪問販売、振り込め詐欺といった事件も広く知られるようになりました。しかし、それでも悪質商法の被害件数は減っていません。

最近の悪質商法の被害は、高齢者をねらったものが多くあります。人は年をとるにつれ、判断力が衰える場合があります。詐欺グループは、そのような高齢者を「だましやすいい人」として、始めからねらってきます。そのため、被害が後をたちません。

悪質業者は、突然「うまい話」や「不安をおおる話」で私たちから冷静な判断を奪い、動揺した心につけこんでいきます。

このような時は、必要なければ、はっきりと断りましょう。

#### 【良い断り方】

- ・いりません
- ・必要ありません、お断りします
- ・必要ないので契約しません
- ・今後の勧誘は一切お断りします
- ・興味もないのでお帰りください など

#### 【悪い断り方】

- ・結構です。いいです。考えておきます。忙しいのでまた今度 など

悪質商法の被害を受けないように、みんなで防ぎましょう。困ったとき、悩んだときは、相談しましょう。

#### 【相談・お問い合わせ先】

宮崎県消費生活センター ☎ 0985-25-0999  
市役所市民課生活環境係 ☎ 35-1111 内線 286



## 「第九でえびのを元気に！」公演が行われます

市民グループ「第九を歌う会」では、「第九でえびのを元気に！」公演を行います。この公演は、平成23年度市民提案運営型自主文化事業を活用して行われるものです。市民の皆さんのご来場お待ちしております。

※第九（ベートーベン交響曲第9番二短調作品125「合唱付き」）

【開催日】12月18日（日）

【時間】午後2時～

【会場】文化センターホール

【入場料】

〔前売り券〕大人1,000円 学生500円

〔当日券〕大人1,500円 学生1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

【内容】公募した市民合唱団による「第九」の合唱など

【チケット取り扱い・お問い合わせ先】

市社会教育課（文化センター内）

☎ 35-2268

第九を歌う会

☎ 090-9653-6443（小倉）



## ご利用ください 空き家バンク活動事業補助金

えびの市への移住希望者（県外在住者）に空き家を賃貸しようとする所有者に、家屋の改修等の経費の一部を市が補助します。

補助の対象は、台所・風呂やトイレ等の修繕費用、内装・屋根・外壁等の改修費用、家財道具等の運搬や廃棄費用、屋内の清掃費用などです。補助金額は、費用の2分の1（限度額40万円）です。

詳しくは、市企画課振興係までお問い合わせください。

問市企画課振興係

☎ 35-1111（内線321）

## 新成人の皆さんへ 平成24年成人式を行います

市では、平成24年成人式を行います。新成人の人は、ぜひ参加ください。

【日時】平成24年1月5日（木）午前10時～

【会場】えびの市文化センター

【対象者】平成3年4月2日から平成4年4月1日まで生まれた市内在住者、または市内出身者。

※住民基本台帳に登録されている人については、案内状を送付します。

※現在、市外に居住している人も、えびの市の成人式に参加できます。

【その他】参加される人は、事前に電話かファクシミリ、メールなどで申し込みください。当日は、平服でお気軽にお越しください。

問市社会教育課

☎ 35-2268 [FAX] 35-2908

Eメール shakaikyoiku@city.ebino.lg.jp

## 新成人意見・アトラクション発表者、 絵画・オブジェ等作品募集

市では、平成24年成人式で「新成人者意見発表」と新成人で作家（絵画・オブジェ等）活動をされている人の作品展と音楽活動をされている人のアトラクションを考えています。今回、意見発表者（2人程度）と作品協力者、アトラクション参加者を募集します。

【応募資格】平成24年成人式該当者で式に出席できる人。

【応募先】市教育委員会 社会教育課

【応募締切】12月12日（月）

【新成人意見発表テーマ】テーマは自由です。400字詰め原稿用紙2～3枚程度に「成人を迎えて」「成人になって思うこと」「えびの市の将来」「これからの自分」など、今思っていることを自由にお書きください。

【アトラクション・絵画・オブジェ発表内容】

①作品について、作品のテーマは自由とします。

②音楽活動について、ジャンルは問いませんが自作のものを対象とします。デモテープを送付の上、演奏時間をお知らせください。

【その他】応募多数の場合は審査の上、発表者を決定します。その場合、審査結果は12月16日（金）までに本人に通知します。応募原稿はお返ししませんのでご了承ください。

問市社会教育課

☎ 35-2268

## 宮崎県腎臓バンクの賛助会員を募集 します

腎臓移植希望者への助成や透析患者の生活の質の向上、医療費抑制効果のある腎臓移植の推進に向けた活動などを支援するため、宮崎県腎臓バンクでは、賛助会員を募集しています。市民の皆さんのご協力をお願いします。

宮崎県では腎臓移植希望者として64人が登録をされています。（H23.3.31現在）

【賛助会員】

特別会員（法人）年会費20,000円～

一般会員（個人）年会費1,000円～

【申し込み・お問い合わせ先】

（財）宮崎県腎臓バンク（宮崎県健康増進課内）

☎ 0985-25-3106 [FAX] 0985-26-7336

[Eメール] mz.co@themis.ocn.ne.jp

## 男女共同参画情報紙の編集員を再募集

市では、だれもが自分らしくいきいきと暮らせる社会をめざして、男女共同参画に関する情報紙を年2回発行しています。その情報紙の編集等に参加・協力できる人を募集します。

【募集対象】男女共同参画に関心のある人で、発行時期に合わせて月2～3回程度、平日の編集会議に参加可能な、市内在住の20歳以上の人。※報酬等はありません。

【募集人員】3人（応募者多数の場合は選考）

【活動内容】情報紙の取材編集等

【応募方法】市企画課にある応募用紙に必要事項を記入の上、市企画課まで提出ください。応募用紙については、市のホームページ（<http://www.city.ebino.lg.jp/>）からダウンロードできます。

## 119 だより

### 火災、救助の問い合わせはご注意ください

119番は、火災や救急事故等をいち早く通報するための緊急通報専用番号です。通話できる回線の数が限られています。

火災、救助出動中に、119番で問い合わせ等があると、司令業務に支障をきたします。

問い合わせの場合は、下記の番号へ問い合わせください。

※「火災、救助の問い合わせは」23-7000

10月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	1件	年計	8件
	救急	72件	年計	652件

■えびの消防署 ☎ 33-6119

【応募締切】11月30日（水）

問市企画課計画係

☎ 35-1111（内線321）

## えびの市青年講座の受講生募集

えびの市教育委員会では、えびの市に住む青年を対象に、えびの市で生きる楽しさや、将来子育てをすることへの理解を深めるため、青年講座を開催します。

【対象者】えびの市在住の18歳以上（高校生を除く）から35歳までの人

【開講式】12月6日（火）午後7時30分～

※開講式終了後、第1講座「えびので楽しめるスイーツ」を行います。

【第2講座以降の予定】

・12月27日（火）えびの「食」と「農」

・平成24年1月17日（火）プレマおばさんの「みんなちがって、みんないい！」

・平成24年2月7日（火）えびのでできる楽しい子育て

・平成24年2月28日（火）えびの未来を明るくしよう

【受講申込】12月2日（金）までに、市社会教育課までご連絡ください。

問市社会教育課

☎ 35-2268

## 110 だより

### 飲酒運転根絶運動が実施されます

県内の交通死亡事故は、10月末で39件発生し、40人が亡くなっています。その内8人は、飲酒のからむ事故で亡くなっています。残念ながら死亡事故以外でも、昼夜を問わず飲酒運転の事故が発生しています。

年末は忘年会等で飲酒をする機会が多くなります。次のことに留意して飲酒運転根絶に努めてください。

- 「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない」の徹底
- 「ハンドルキーパー」を決める
- 朝、出かける時は、二日酔いでないかの確認

10月の交通事故 発生状況	人身	15件	本年 10月末	106件
	物件	25件	本年 9月末	265件

■えびの警察署 ☎ 33-0110



# ふるさと散歩

Furusato-sanpo

157

## 梅室妙香大姉の墓



飯野市宮本市団地北側の幻生寺跡にある梅室妙香大姉の墓

飯野の市宮本市団地北側の幻生寺跡にある墓地に、梅室妙香大姉という女性の墓碑があります。墓碑の表面には「梅室妙香大姉」、裏面には「天正十七年（一五八九年）九月二五日 明治十一年九月十二日再建 伊勢貞固 伊勢貞昌御母也」と刻み込まれています。

梅室妙香大姉（戒名）は、新納忠元の娘で、伊勢（有川）貞真の妻だった女性ですが、本名は残っておらず不明です。父の忠元は、島津家の重臣で、島津義弘・貴久・義久と三代にわたって島津家を支え、義弘の遠征時、飯野城の留守居役や飯野地頭をしました。

夫の貞真は、木崎原合戦の際、島津義弘にかわって飯野城を守った人物です。貞真は永禄七年（一五六四年）に義弘が飯野に入部した際、加世田から移ってきた六十人衆の一人です。

また、この女性の息女たちも島津家と深い関わりを持っていました。長男の伊勢貞成（貞之）は、国老や地頭を勤め、次男の伊勢貞昌は、義弘・家久・光久の三代に仕え、江戸家老などを勤めました。長女の雅楽女は山田昌巖の妻です。山田昌巖は関ヶ原の戦いで大きな武功をあげ、薩摩出水の地頭をしました。このように夫や息女は島津家で大きな働きをしました。

墓碑のある幻生寺は、宗江院の末寺でした。寺の名前は島津義弘の長男である鶴寿丸の法名である涼山幻生から採ったものです。

幻生寺に墓碑がある梅室妙香大姉は、戦国の世で夫を支え、家にあつては子どもの教育と、子どもたちを立派に育てあげました。乱世の世でも、家を守り子息の教育に尽くした良妻賢母だったに違いありません。その子どもたちが国に大いに貢献し、支えたからこそ由緒ある幻生寺に葬られたのではないのでしょうか。

（文）市歴史民俗資料館